

ウェルビーイングは測ることができるか?⑤ ウェルビーイング県民意識調査 (その1)

主観的・持続的・多面的なウェルビーイングに着目した 初の県民意識調査

県民意識の現状把握と分析のため、9月に「**ウェルビーイング県民意識調査 (生活の実感に関する調査)**」を実施しました。この結果の速報版がまとめ、**11月21日の知事記者会見**で発表しました。

有効回答数は**2,754** (※県民5,000名を抽出し実施、有効回答率55.1%)。多様な実感を捉えるため工夫 (どの年代からも一定の回答数が確保できるよう、回答率が低くなりがちな若年層の調査票配布数を多めに割り振るなど) し、結果的に各年齢層概ねバランス良く回答いただくことができました。

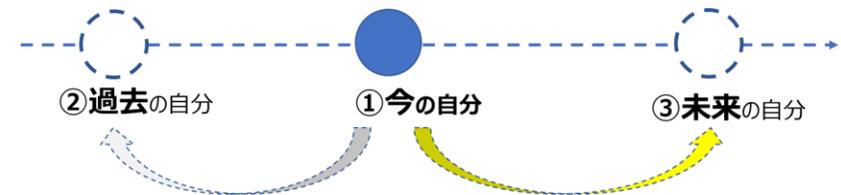
調査は、**ウェルビーイングに関連する主観的な実感**を問うもので構成。**多面的**に捉えるため、自分自身の状態に加え家族や職場、地域との**つながり**への意識も聞いています。

総合的な実感では、それぞれが考える最も理想的な生活に対する今の状態の自己評価を11段階で回答いただきました。また、**持続的**な面も捉えるため、現在だけでなく、過去・未来も併せて評価いただきました。

政策分野を超え、県民の皆様の主観的な実感・状態を掘り下げた調査はあまり例がないと思います。速報版は[県ホームページ](#)に掲載。ぜひご覧ください。

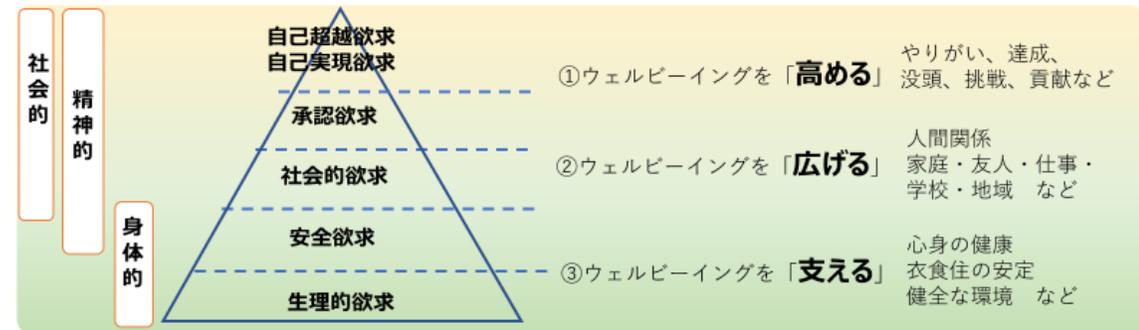
調査にあたって意識した3つの観点

①時間軸

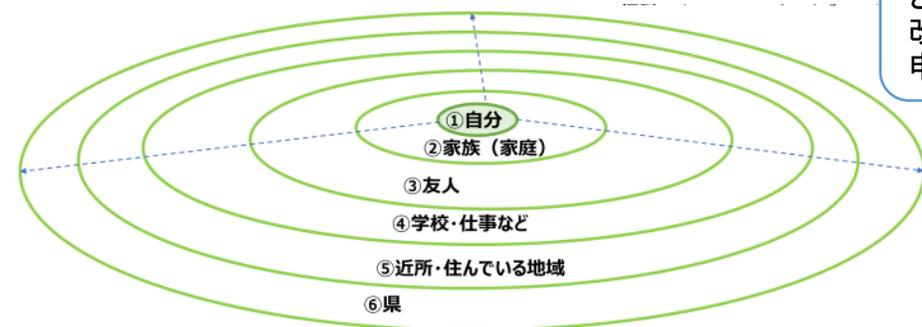


※総合的な実感とは、現在の実感に加え、**過去・未来の評価**も行う
→ 時間軸を意識した相対的な評価により、現在の状態を改めて丁寧に
見つめていただくとともに、**「持続的な」幸せ、ウェルビーイング**をとらえる

②個人意識の階層



③自分を起点とする社会との「つながり」



多くの県民の皆様にご協力いただき、改めて感謝申し上げます。

